

第39回 希望へのドライブ

「車の運転には性格が出る」という。ルールをしっかりと守ってスマートに運転する人。ノロノロ、フラフラ運転する人。イライラ、せっかちに前の車に詰め寄る人。もちろんこれは「車の性能」の問題ではなく、ハンドルを握っている「人の性格」の問題である。

道路を人生に見立てれば、車はそこを進んでいく人間だ。車体は人間の「肉体」であり、新品のスポーツカーもあれば、年代物のセダンもある。軽もあれば、ダンプもあり、外観は様々である。身体的な特徴は、生まれつきの要因もあるが、日頃の「手入れ」により「性能」を維持することは可能である。けれど、手入れを怠ったり、無茶な運転をして事故を起こすと故障する。これが病気や怪我の状態である。

車体が「肉体」なら、運転手に相当するのは何か？ハンドルさばきが上手な運転手は、道路状況が変化しても臨機応変に、安定した乗り心地で車を進める。一方、立

ち往生したり、同じ道を何度もぐるぐる走っていたり、交差点で間違っただけのルートを選択する運転手も存在する。これは、人生における苦難・困難、あるいは判断や決断における「迷い」を象徴しているようでもある。そう、「肉体」という乗り物を運転しているのは「心」なのだ。

けれど、運転は下手くそでもいい。時にはドライブインで休憩してもいい。道に迷って、他の運転手に助けてもらっても良い。車体が故障したら、修理すればいい。多少ポンコツになってもいい。一番大事なことは、カーナビの「目的地」に何を入力するかである。目的地が間違っていることに気付いたなら、いつでも書き換えればいいのだ。道は繋がっているのだから、「希望」に向けてどこからでも出発は可能である。

医学博士 木村謙介

北海道大学医学部卒。慶應義塾大学医学部循環器内科専任講師などを歴任。
米カリフォルニア大学サンディエゴ校医学部留学。最先端の基礎医学と豊富な臨床経験を持つ。「大きな病気を発症する前にその芽を摘み取る方が医療レベルは高いはず」の信念で2012年、きむら内科クリニックを開設。



医療法人

きむら内科クリニック TEL 044(981)6617

麻生区五カ田2-14-6

きむら内科クリニック 麻生区 検索